



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 植垣 文雄 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	144,398	5.5	16,786	40.2	16,268	43.9	5,282	△21.2
2020年12月期第1四半期	136,927	△3.3	11,971	△18.2	11,306	△11.6	6,705	10.2

(注) 包括利益 2021年12月期 28,547百万円(—%) 2020年12月期 第1四半期 △2,205百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15.36	15.35
2020年12月期第1四半期	19.50	19.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,048,707	538,312	49.6
2020年12月期	1,051,584	515,481	47.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 520,151百万円 2020年12月期 498,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	21.00	—	19.00	40.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	290,000	10.7	30,000	53.0	29,000	64.4	13,500	47.4	39.25
通期	570,000	5.2	55,000	24.0	50,000	25.8	30,000	—	87.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	354,863,603株	2020年12月期	354,863,603株
2021年12月期1Q	10,919,633株	2020年12月期	10,940,270株
2021年12月期1Q	343,929,902株	2020年12月期1Q	343,781,244株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日~2021年3月31日)における世界経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行き不透明な状況が続いています。そのような中、当社グループの業績は、コロナ禍における巣ごもり消費の拡大や、自動車用途の需要増加により回復が進みました。その結果、売上高は前年同期比7,470百万円(5.5%)増の144,398百万円、営業利益は4,814百万円(40.2%)増の16,786百万円、経常利益は4,962百万円(43.9%)増の16,268百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,422百万円(21.2%)減の5,282百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間において、2018年5月に米国子会社で発生した火災事故に関する訴訟関連損失として3,054百万円を、2021年2月に米国南部を襲った強い寒波の影響により米国子会社の一部設備で生産を停止したことなどから災害損失として3,016百万円を特別損失に計上しました。

当社グループは創立100周年となる2026年に向けた長期ビジョン『Kuraray Vision 2026』の中で、ありたい姿として「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に成長するスペシャリティ化学企業」を掲げています。『Kuraray Vision 2026』の3つの基本方針「競争優位の追求」「新たな事業領域の拡大」「グループ総合力強化」に基づく具体的施策を着実に実行し、事業ポートフォリオの最適化に取り組んでまいります。2021年度は単年度経営計画とし、コロナ禍における安全・安定操業に注力するとともに、前中期経営計画「PROUD 2020」期間に決定した諸施策を着実に実行します。これらの実行と併せて、2022年度を初年度とする次期中期経営計画の策定も進めてまいります。

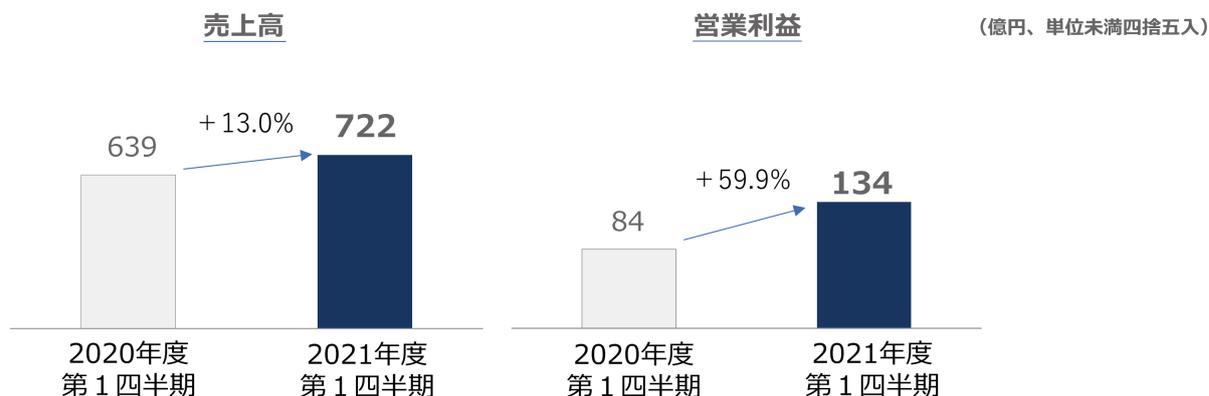
なお、機能材料セグメントでは、2021年1月1日付の組織改定により、活性炭を主要製品とする炭素材料事業部及びカルボン・カーボン事業部を統合し、環境ソリューション事業部としています。

(単位:百万円)

	2020年度 第1四半期		2021年度 第1四半期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	63,866	8,387	72,175	13,415	8,309	5,027
イソプレン	13,162	3,140	14,894	3,046	1,731	△94
機能材料	30,766	1,268	30,294	1,061	△471	△207
繊維	14,467	916	13,721	435	△746	△480
トレーディング	29,771	961	32,972	1,074	3,200	113
その他	11,661	43	10,251	△136	△1,410	△180
消去又は全社	△26,769	△2,745	△29,912	△2,110	△3,143	635
合計	136,927	11,971	144,398	16,786	7,470	4,814

[ビニルアセテート]

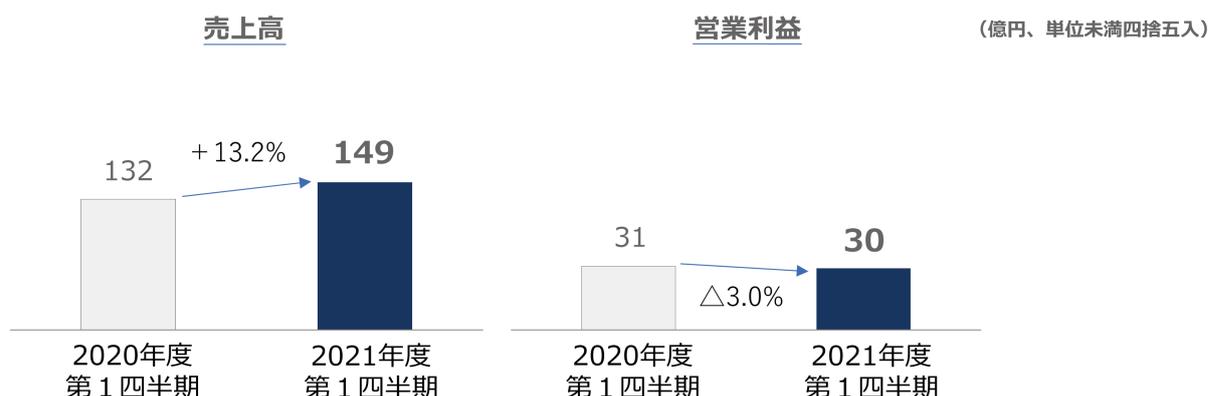
当セグメントの売上高は72,175百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益は13,415百万円(同59.9%増)となりました。



- ① ポバール樹脂は、世界的に需要回復が進み販売量が増加しましたが、米国の寒波による影響を受けました。光学用ポバールフィルムは、前年後半からの大型ディスプレイ向けを中心とした液晶パネルの需要増加により、好調に推移しました。PVBフィルムは、建築向け、自動車向けともに需要が回復し販売量が増加しました。水溶性ポバールフィルムは、新型コロナウイルス感染拡大によるステイホームを背景に、食洗器用を含む個包装洗剤向けの販売が拡大しました。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、食品包材用途は堅調に推移し、ガソリントank用途も需要が回復したことを受け、販売量が増加しましたが、米国の寒波による影響を受けました。

[イソプレン]

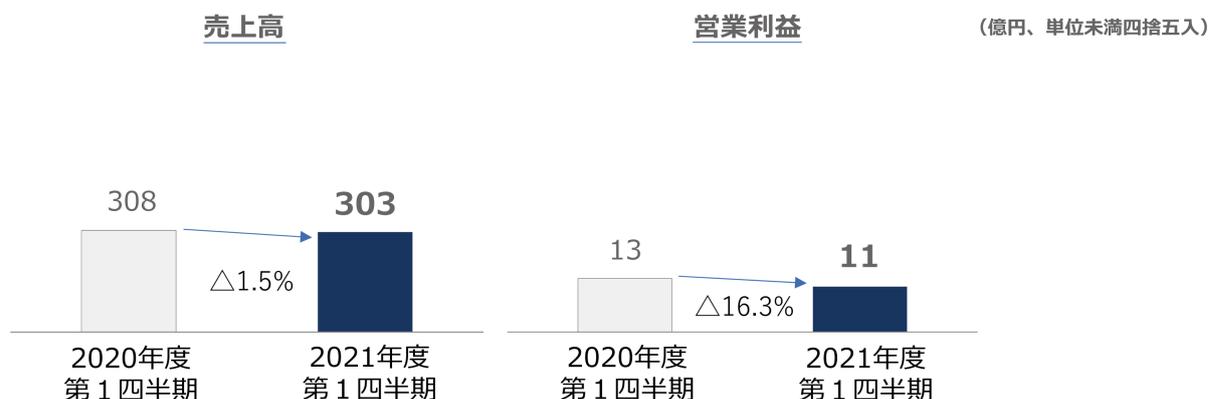
当セグメントの売上高は14,894百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は3,046百万円（同3.0%減）となりました。



- ① イソプレン関連は、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>とともに、主に中国、アジアにおいて需要が回復基調となり、販売量が増加しましたが、原燃料高の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、電気・電子デバイス向け、自動車向けともに需要が伸び、販売が好調に推移しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は30,294百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は1,061百万円（同16.3%減）となりました。



- ① メタクリルは、飛沫飛散防止用仕切板やディスプレイ向けの販売が増えた一方、看板向け等の用途は低調となりました。
- ② メディカルは、歯科材料において、主に欧米で販売が好調に推移しました。
- ③ 環境ソリューションは、工業用途を中心に出荷が減少しました。

[繊維]

当セグメントの売上高は13,721百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は435百万円（同52.4%減）となりました。

売上高営業利益

(億円、単位未満四捨五入)



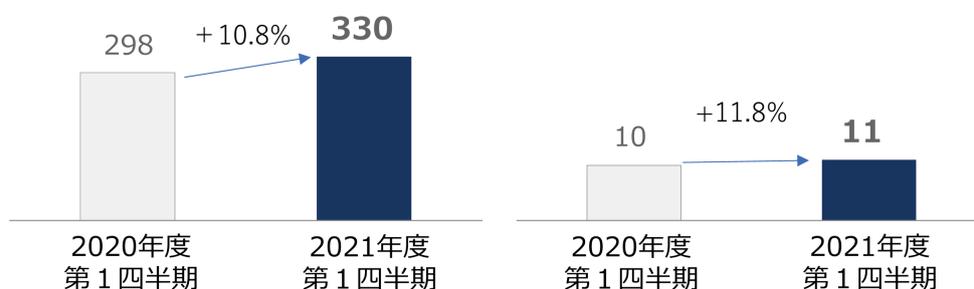
- ① 人工皮革<クラリーノ>は、アジアでのシューズ用途や欧州のラグジュアリー商品用途を中心に需要回復が見られ、販売が堅調に推移しました。
- ② 繊維資材は、ビニロンで前年後半に落ち込んだ需要は回復基調となったものの、前年同期の販売を下回りました。
- ③ 生活資材は、<クラフレックス>でマスク用途の数量は増えましたが、外食産業向けのカウンタークロスの需要が低調となり、販売量が減少しました。

[トレーディング]

繊維関連事業は、スポーツ衣料用途を中心に販売が伸び悩みました。樹脂・化成品関連事業は、国内及び中国を含むアジアにおける需要増により販売が順調に推移しました。その結果、売上高は32,972百万円（前年同期比10.8%増）、営業利益は1,074百万円（同11.8%増）となりました。

売上高営業利益

(億円、単位未満四捨五入)



[その他]

その他事業は、国内関連会社の販売が低調であったことにより、売上高は10,251百万円（前年同期比12.1%減）、営業損失は136百万円（前年同期は営業利益43百万円）となりました。

売上高営業利益

(億円、単位未満四捨五入)



(2) 財政状態に関する説明

総資産は、建設仮勘定の増加6,845百万円、受取手形及び売掛金の増加5,067百万円、たな卸資産の増加4,615百万円、機械装置及び運搬具(純額)の増加4,608百万円、主として未収入金の増加に伴うその他流動資産の増加3,314百万円及び為替影響によるのれんの増加2,410百万円等的一方、現金及び預金の減少30,184百万円及び有価証券の減少5,794百万円等により前連結会計年度末比2,877百万円減の1,048,707百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加3,626百万円等的一方、コマーシャル・ペーパーの償還20,000百万円及び主として未払金の減少に伴うその他流動負債の減少11,684百万円等により前連結会計年度末比25,709百万円減の510,394百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比22,831百万円増加し、538,312百万円となりました。自己資本は520,151百万円となり、自己資本比率は49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間における当社の業績は、主力用途である自動車、ディスプレイ、電子・電気デバイスなどの需要が伸びたことを受け、多くの事業において出荷が増加しました。第2四半期においても需要は堅調に推移すると想定し、2021年12月期第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)の業績予想を次のとおりいたします。

なお、米国子会社で発生した火災事故の訴訟に関し、第1四半期連結累計期間において特別損失を計上しましたが、本訴訟は現在も係属中です。

2021年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 280,000	百万円 25,000	百万円 22,500	百万円 13,500	円 銭 39.25
今回修正予想(B)	290,000	30,000	29,000	13,500	39.25
増減額(B-A)	10,000	5,000	6,500	-	
増減率(%)	3.6	20.0	28.9	-	

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	184,319	154,135
受取手形及び売掛金	117,172	122,239
有価証券	7,924	2,130
商品及び製品	86,555	89,469
仕掛品	14,105	15,527
原材料及び貯蔵品	31,968	32,247
その他	19,596	22,910
貸倒引当金	△439	△467
流動資産合計	461,202	438,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,604	85,570
機械装置及び運搬具(純額)	200,152	204,760
土地	22,204	22,517
建設仮勘定	97,451	104,296
その他(純額)	24,978	25,038
有形固定資産合計	429,391	442,182
無形固定資産		
のれん	51,105	53,515
顧客関係資産	28,800	30,106
その他	31,143	32,479
無形固定資産合計	111,049	116,102
投資その他の資産		
投資有価証券	25,477	27,251
長期貸付金	140	143
退職給付に係る資産	2,097	2,221
繰延税金資産	14,652	14,636
その他	7,597	7,998
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	49,941	52,228
固定資産合計	590,382	610,513
資産合計	1,051,584	1,048,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,161	39,788
短期借入金	34,509	34,523
コマーシャル・ペーパー	20,000	—
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払費用	17,956	17,871
未払法人税等	6,621	5,881
賞与引当金	6,745	8,458
その他の引当金	202	156
その他	52,856	41,172
流動負債合計	195,053	167,852
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	206,881	209,137
繰延税金負債	11,218	11,522
役員退職慰労引当金	375	388
環境対策引当金	3,364	998
退職給付に係る負債	25,449	26,585
資産除去債務	4,383	4,467
その他	29,376	29,440
固定負債合計	341,050	342,541
負債合計	536,103	510,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,178	87,176
利益剰余金	336,050	334,798
自己株式	△16,006	△15,976
株主資本合計	496,177	494,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,847	8,031
繰延ヘッジ損益	△376	△166
為替換算調整勘定	1,470	22,728
退職給付に係る調整累計額	△5,321	△5,396
その他の包括利益累計額合計	2,620	25,197
新株予約権	328	414
非支配株主持分	16,354	17,746
純資産合計	515,481	538,312
負債純資産合計	1,051,584	1,048,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	136,927	144,398
売上原価	94,229	96,998
売上総利益	42,697	47,399
販売費及び一般管理費		
販売費	7,824	8,570
一般管理費	22,901	22,042
販売費及び一般管理費合計	30,725	30,613
営業利益	11,971	16,786
営業外収益		
受取利息	71	34
受取配当金	73	44
持分法による投資利益	42	75
為替差益	41	139
債務消滅益	163	—
その他	269	392
営業外収益合計	661	686
営業外費用		
支払利息	315	382
その他	1,012	822
営業外費用合計	1,327	1,204
経常利益	11,306	16,268
特別利益		
補助金収入	—	510
投資有価証券売却益	—	154
受取保険金	334	—
特別利益合計	334	665
特別損失		
訴訟関連損失	145	3,054
災害損失	—	3,016
固定資産廃棄損	438	838
固定資産圧縮損	—	423
操業休止関連費用	489	—
特別損失合計	1,073	7,333
税金等調整前四半期純利益	10,567	9,600
法人税、住民税及び事業税	5,610	4,739
法人税等調整額	△2,062	△789
法人税等合計	3,547	3,950
四半期純利益	7,019	5,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	314	366
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,705	5,282

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	7,019	5,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,863	1,185
繰延ヘッジ損益	464	333
為替換算調整勘定	△7,160	21,454
退職給付に係る調整額	335	△74
その他の包括利益合計	△9,224	22,898
四半期包括利益	△2,205	28,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,331	27,859
非支配株主に係る四半期包括利益	126	688

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	54,212	7,293	26,141	11,177	29,084	127,910	9,017	136,927	—	136,927
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,653	5,869	4,624	3,290	687	24,124	2,644	26,769	△26,769	—
計	63,866	13,162	30,766	14,467	29,771	152,034	11,661	163,696	△26,769	136,927
セグメント利益	8,387	3,140	1,268	916	961	14,673	43	14,717	△2,745	11,971

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△2,745百万円には、セグメント間取引消去574百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,319百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	60,523	7,916	25,462	10,185	32,448	136,536	7,861	144,398	—	144,398
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,652	6,977	4,832	3,536	523	27,522	2,389	29,912	△29,912	—
計	72,175	14,894	30,294	13,721	32,972	164,059	10,251	174,310	△29,912	144,398
セグメント利益	13,415	3,046	1,061	435	1,074	19,033	△136	18,897	△2,110	16,786

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△2,110百万円には、セグメント間取引消去492百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,602百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。